



平成30年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月3日

上場会社名 株式会社 平和堂 上場取引所 東  
 コード番号 8276 URL http://www.heiwado.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 平松 正嗣  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 竹中 昭敏 (TEL) 0749-23-3111  
 四半期報告書提出予定日 平成29年10月4日 配当支払開始予定日 平成29年11月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第2四半期の連結業績(平成29年2月21日～平成29年8月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第2四半期	213,886	△0.9	5,629	△15.4	6,095	△8.9	3,878	2.3
29年2月期第2四半期	215,732	0.3	6,657	△8.2	6,694	△13.0	3,790	△19.3

(注) 包括利益 30年2月期第2四半期 3,733百万円( 83.0%) 29年2月期第2四半期 2,040百万円(△62.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第2四半期	73.95	—
29年2月期第2四半期	72.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年2月期第2四半期	291,604	144,698	48.7
29年2月期	293,672	141,849	47.4

(参考) 自己資本 30年2月期第2四半期 141,911百万円 29年2月期 139,109百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期	—	16.00	—	16.00	32.00
30年2月期	—	16.00	—	—	—
30年2月期(予想)	—	—	—	21.00	37.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年2月期の連結業績予想(平成29年2月21日～平成30年2月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	444,000	1.5	15,700	2.3	16,500	5.5	9,700	5.2	184.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年2月期2Q	58,546,470株	29年2月期	58,546,470株
② 期末自己株式数	30年2月期2Q	6,095,828株	29年2月期	6,095,612株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年2月期2Q	52,450,781株	29年2月期2Q	52,451,378株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成29年2月21日から平成29年8月20日まで）におけるわが国経済は、国内では政府の景気対策等の効果もあり緩やかな景気回復基調で推移したものの、海外では地政学的リスクが顕在化するなどの影響もあり、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。当小売業界におきましては、消費者の節約志向が続いており、業態を超えた競争の激化や人員の不足感の高まり等、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループ企業の中核である「株式会社平和堂」は、平成29年3月1日をもちまして創業60周年を迎えることができました。より一層地域に密着した企業として、既存店の活性化を積極的に進め、お客様のご期待にお応えする商品や売場展開、サービスの向上に注力してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、営業収益2,138億86百万円（前年同期比0.9%減）、営業利益56億29百万円（前年同期比15.4%減）、経常利益60億95百万円（前年同期比8.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、38億78百万円（前年同期比2.3%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### [小売事業]

グループ中核企業である「株式会社平和堂」は、前年の閏年影響や不採算店舗閉店の影響、新基幹システム稼働に伴う在庫評価見直し等もあり、減収・減益となりました。

今期も既存店への改装投資を積極的に進め、フレンドマート木津川店（京都府木津川市）、アル・プラザ枚方（大阪府枚方市）、穂積店（岐阜県瑞穂市）など計7店舗において食料品売場の改装を実施、計画的な店舗の活性化により、商圈の特性に合わせた品揃えの強化や老朽化した什器の入れ替え等、ストア・ロイヤルティの向上に取り組んでおります。

商品面では、60周年記念商品として人気商品の増量企画や平和堂オリジナルのこだわり商品を提供しております。また、消費の二極化に対して、味や素材、機能性等にこだわった商品の開発や日本製など品質を重視した商品の提案を進める一方で、高頻度商品におけるEDLPやカード会員様向けのセール、均一価格での販売に注力いたしました。また、7月には商業施設MOMOテラス（京都市）内に直営のコスメ&バラエティストア専門店「C o C o R o P l u s MOMOテラス店」としてテナント出店しました。販促面では、自社ポイントカードが電子マネー機能を追加したカードに完全移行し、お客様の利便性を高めるとともに特定日にポイントを付与するサービスを実施しております。

中国湖南省で小売事業を展開する「平和堂（中国）有限公司」は、中国経済の成長減速や競合激化もあり減収・減益となりました。

滋賀県でスーパーマーケットを展開する「株式会社丸善」は、競合影響等により減収・減益の赤字決算となりました。

書籍、CD・DVD、ゲーム販売やCD・DVD、コミックのレンタル業を展開する「株式会社ダイレクト・ショップ」は、主力販売品目の低下傾向が継続し減収・減益の赤字決算となりました。

#### [小売周辺事業]

惣菜・米飯および生鮮品の製造加工を営む「株式会社ベストネ」は、食品センターの設備の有効活用による製造数の増加により増収となりましたが、運賃等の経費増により減益となりました。

ビル管理事業を営む「株式会社ナショナルメンテナンス」は、新規外部物件の受注獲得により増収となりましたが、経費増により減益となりました。

#### [その他事業]

外食事業を展開する「株式会社ファイブスター」は、客数減少や営業時間短縮により減収となり、販促強化や人材確保の推進による経費の増加により減益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ20億67百万円減少し、2,916億4百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が19億22百万円増加し、商品及び製品が10億61百万円、有形固定資産が23億15百万円、投資有価証券が2億24百万円減少したこと等であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ49億16百万円減少し、1,469億6百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が16億91百万円、流動負債その他(預り金他)が37億29百万円増加し、長期借入金が101億90百万円減少したこと等であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ28億48百万円増加し、1,446億98百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が30億39百万円増加し、為替換算調整勘定が1億61百万円減少したこと等であります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ3億45百万円増加し、165億2百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の収入は、前年同期に比べ33億64百万円増加し、176億53百万円となりました。この主な要因は、閉店損失引当金の増減額が5億14百万円減少した一方で、預り金の増減額が28億43百万円増加、たな卸資産の増減額が5億51百万円減少したこと等であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の支出は、前年同期に比べ9億4百万円減少し、68億49百万円となりました。この主な要因は、定期預金の純増減額が16億56百万円増加した一方で、有形及び無形固定資産の取得による支出が24億58百万円減少したこと等であります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の支出は、前年同期に比べ50億5百万円増加し、103億25百万円となりました。この主な要因は、長期借入金の返済による支出が79億95百万円減少した一方で、短期借入金の純増減額が7億53百万円、長期借入れによる収入が124億円減少したこと等であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の業績予想数値は、平成29年7月3日公表時より変更ありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## (4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	20,488	22,411
受取手形及び売掛金	5,319	5,289
商品及び製品	19,810	18,748
原材料及び貯蔵品	207	199
その他	7,230	7,224
貸倒引当金	△44	△40
流動資産合計	53,011	53,833
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	88,731	87,080
土地	96,391	96,330
その他(純額)	11,121	10,517
有形固定資産合計	196,244	193,929
無形固定資産		
のれん	1,074	1,040
借地権	5,854	5,789
その他	5,068	5,092
無形固定資産合計	11,997	11,922
投資その他の資産		
投資有価証券	5,813	5,588
敷金及び保証金	22,063	21,948
その他	4,851	4,691
貸倒引当金	△309	△309
投資その他の資産合計	32,418	31,919
固定資産合計	240,660	237,771
資産合計	293,672	291,604

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,047	32,738
短期借入金	26,880	27,744
未払法人税等	2,703	1,979
賞与引当金	1,323	1,302
ポイント引当金	6,586	6,941
利息返還損失引当金	189	173
閉店損失引当金	434	269
その他	24,779	28,508
流動負債合計	93,943	99,659
固定負債		
長期借入金	34,711	24,521
退職給付に係る負債	9,470	9,317
資産除去債務	2,768	2,792
受入敷金保証金	9,393	9,218
その他	1,534	1,397
固定負債合計	57,878	47,246
負債合計	151,822	146,906
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,614	11,614
資本剰余金	19,044	19,044
利益剰余金	117,196	120,235
自己株式	△12,307	△12,307
株主資本合計	135,547	138,586
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,985	1,832
為替換算調整勘定	2,243	2,081
退職給付に係る調整累計額	△667	△589
その他の包括利益累計額合計	3,561	3,324
非支配株主持分	2,740	2,786
純資産合計	141,849	144,698
負債純資産合計	293,672	291,604

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年2月21日 至平成28年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年2月21日 至平成29年8月20日)
営業収益		
売上高	202,730	200,517
営業収入	13,001	13,368
営業収益合計	215,732	213,886
売上原価	142,839	141,954
売上総利益	59,891	58,562
営業総利益	72,893	71,931
販売費及び一般管理費	66,235	66,301
営業利益	6,657	5,629
営業外収益		
受取利息	153	137
受取補助金	51	203
その他	270	231
営業外収益合計	475	572
営業外費用		
支払利息	116	54
支払補償金	161	33
為替差損	142	4
その他	19	14
営業外費用合計	439	106
経常利益	6,694	6,095
特別利益		
固定資産売却益	477	7
投資有価証券売却益	243	257
その他	3	7
特別利益合計	724	272
特別損失		
固定資産売却損	13	53
固定資産除却損	229	354
閉店損失引当金繰入額	350	—
減損損失	639	7
その他	4	0
特別損失合計	1,237	415
税金等調整前四半期純利益	6,181	5,952
法人税、住民税及び事業税	2,497	1,921
法人税等調整額	△217	51
法人税等合計	2,280	1,972
四半期純利益	3,900	3,979
非支配株主に帰属する四半期純利益	109	101
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,790	3,878



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年2月21日 至 平成28年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年2月21日 至 平成29年8月20日)
四半期純利益	3,900	3,979
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△216	△152
為替換算調整勘定	△1,699	△170
退職給付に係る調整額	55	77
その他の包括利益合計	△1,860	△245
四半期包括利益	2,040	3,733
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,018	3,641
非支配株主に係る四半期包括利益	21	92

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年2月21日 至 平成28年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年2月21日 至 平成29年8月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	6,181	5,952
減価償却費	5,760	5,835
のれん償却額	38	33
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	99	△41
閉店損失引当金の増減額 (△は減少)	350	△164
受取利息	△153	△137
支払利息	116	54
固定資産除却損	229	354
売上債権の増減額 (△は増加)	△58	22
たな卸資産の増減額 (△は増加)	506	1,057
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,108	1,757
預り金の増減額 (△は減少)	1,549	4,393
その他	508	1,151
小計	17,235	20,269
利息及び配当金の受取額	177	153
利息の支払額	△121	△57
法人税等の支払額	△3,003	△2,712
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,288	17,653
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額 (△は増加)	49	△1,606
有形及び無形固定資産の取得による支出	△7,953	△5,494
短期貸付金の回収による収入	3	—
長期前払費用の取得による支出	△20	△30
敷金及び保証金の差入による支出	△59	△159
敷金及び保証金の回収による収入	349	298
その他	△122	142
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,753	△6,849
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,850	△3,603
長期借入れによる収入	14,100	1,700
長期借入金の返済による支出	△15,419	△7,423
自己株式の取得による支出	△1	△0
配当金の支払額	△996	△839
その他	△152	△158
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,319	△10,325
現金及び現金同等物に係る換算差額	△735	△133
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	479	345
現金及び現金同等物の期首残高	14,546	16,157
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,025	16,502

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。